

### 【短報】福岡県におけるエチゴトックリゴミムシの記録

大変古い記録で恐縮だが、筆者は福岡県福岡市沖の離島、能古島でエチゴトックリゴミムシ *Oodes echigonus* Habu et Baba を採集しているので、採集例を報告する。本種はこれまで、兵庫県以東の本州からのみ局地的に知られていた（森，2011）。

1♀，福岡県福岡市西区能古島，2. VII. 1994，筆者採集・保管

午後8時頃，海岸そばの運動場の水銀灯下を歩行中のものを採集した。当初，保育社の甲虫図鑑2巻（上野ほか，1986）に記載されていた分布，および図版の絵合わせによって安直に同定を行ったため，同属のオオトックリゴミムシ *O. vicarinus* Bates もしくはオオヒラタトックリゴミムシ *O. virens* Wiedemann として誤って同定してしまった（藤本，1995；安部ほか，1996）。その後，中根（1986）の検索表，およびオオトックリ，エチゴトックリのそれぞれの比較標本を基に改めて同定をやり直した結果，第8間室が狭まらない点，および下唇基節先端や前胸隆起の形状から本種と同定されたものである。

本種は，好湿地性のゴミムシとして知られている。森（2011）は，兵庫県内での採集例をもとに「平地に立地し比較的規模が大きく，周囲を豊かな草地に覆われた溜池環境」を，本種の最も好む生息環境と推測している，当時，能古島ではアシ原やため池が小規模ながらも良好な状態で残っていたので，そのような環境の水際に生息していた個体が灯火に飛来したものと思われる。残念ながら，能古島の水辺環境は当時と比べかなり悪化してしまったため（藤本，2003）再発見は厳しいものの，今後，九州本土においても大型ゲンゴロウ類の得られるような良好な環境の湿地やため池などを調査することで，追加記録が期待される。

末筆になったが，九州における分布記録についてご教示いただいた西田光康氏，今坂正一氏，エチゴトックリゴミムシ



図1. エチゴトックリゴミムシ。

の本州産の比較標本を送っていただき，同定についてのアドバイス等，種々ご教示して頂いた森田誠司氏に厚くお礼申し上げますと共に，誤同定による混乱を引き起こしたうえ，正確な同定に基づく発表が大変遅くなってしまったことを深くお詫び申し上げます。

### 引用文献

- 安部雅幸・藤本博文・杉本広樹，1996. 福岡市で採集した昆虫—南公園・油山・能古島における記録. VITAE, 37: 17-54. 九州大学生物研究部.  
 藤本博文，1995. 能古島のオサムシ上科甲虫（第一報）. VITAE, 36: 30-35.  
 藤本博文，1999. 能古島で記録された甲虫類. 新筑紫の昆虫, (6): 17-38. 筑紫昆虫同好会.  
 藤本博文，2003. 能古島産甲虫類・追加目録. KORASANA, (71): 39-56. 久留米昆蟲同好会.  
 森 正人，2011. 兵庫県のトックリゴミムシ類. きべりはむし, 34(1): 9-11.  
 中根猛彦，1986. 日本の甲虫(72). 昆虫と自然, 21(2): 19-24.  
 上野俊一・黒澤良彦・佐藤正孝，1985. 原色日本甲虫図鑑，II. 保育社.

（藤本博文 769-0213 綾歌郡宇多津町大字東分 1535-1 B-101）

### 【短報】沖縄島におけるニセキンモリヒラタゴミムシの記録

ニセキンモリヒラタゴミムシ *Colpodes (Glaucagonum) sylphides* (Habu, 1975) は奄美大島から新種として記載された種である（Habu, 1975）。

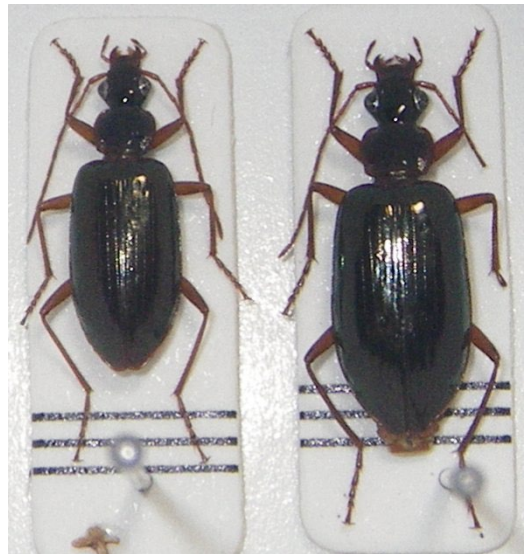


図1. 沖縄島産のニセキンモリヒラタゴミムシ（右♀，左♂）。